

## タイヤの振動とバランスの起因から発生する問題の対策

乗車時の障害を回避するためには、指定されている注入量を正しくタイヤに注入することが最も重要です。指定されている量より少ないもしくは多い場合、バランスの障害がおこる可能性があります。更に、指定量よりも少量に注入した場合において、パンク防止の性能に問題が生じることになります。そのため、車両取り扱いの際には必ず記載されている量を注入して下さい。

車両に振動を与える原因が必ずしもタイヤバランスに起因しているとは限りません。

以下に挙げるものも車両を振動させる原因として考えられます。

1) タイヤもしくは車輪が正常な円形でない 2) フラットスポットが存在する 3) 衝撃吸収材、支柱、玉継ぎ手 (ball joint)、キングピンの問題 4) 交換されたタイヤベルト 5) タイヤまたは車輪が正しく装着されていない 6) タイヤまた車輪の過度使用 7) 配置の不具合：特にトーインのセッティング。

また、振動がタイヤの左右から感じられる（横揺れ）場合は以下のような潜在的要因が考えられます。

1) 車輪のゆがみ 2) 車軸のゆがみ 3) 誤った方法による車輪の取り付け 4) 車輪軸の欠損もしくは損害 5) フロントエンド部品の欠損

1：最初に、タイヤ内部に十分にドリームシールがいきわたるように、最低でも90km/hのスピードで、少なくとも8Km以上車両を走行させます。

2：振動が前タイヤによるものか（ハンドルに振動を感じるもの）、後ろタイヤによるものか（車両のボディ全体に振動を感じるもの）を判定します。

ここから以下のステップは、この時点で振動の原因がタイヤにあると判断された場合のみ進んでください。

3：振動の原因であると判断したタイヤの車軸からホイールウェイト(鉛の重り)をはずします。

(例：ハンドルから振動を感じた場合には、前タイヤ両方からホイールウェイトをはずす)

4：もう一度車両を初回と同じスピードで走行させ、振動が抑制されたかどうか確認します。90%以上の確率で、この時点で振動の問題は解決されます。

5：それでも振動が軽減されない場合、ドリームシールを一般乗用車の場合は2oz.(2オンス)、トラックやスポーツカーの場合は4oz.(4オンス)追加注入して下さい。

6：再度、車両を初回のスピードで走行させ振動が抑制されたか確認します。

それでもまだ振動を感じる場合は、ドリームシールを一度除去しタイヤバランスの調整を再度行ってください。

旧式の鉛の重りを使用するバランス調整方式では、精密にバランスがとれない確率が5%あるという報告があります。まれに、タイヤ内部での過度な助材の使用、もしくは中心軸のないタイヤベルト（ノンコンセントリックタイヤ）の使用による原因で、バランスを調整しても振動が抑制されないことがあります。

上記の事から、タイヤバランスは繊細であり、人によって振動の感じ方が違う為、本製品の注入後のタイヤバランス等の問題に関して弊社は一切責任を負えません。

## タイヤ振動のためのトラブル解決の流れ

